

(仮称)三軒屋公園等複合施設に係るワークショップ 《第2回》

【日 時】令和8年5月17日（日）14時～
【会 場】東北コミュニティセンター
【参加者】26名
【コーディネーター】千葉大学 湯浅 かさね 助教
【ファシリテーター】三軒屋公園まちづくり株式会社 3名



(仮称)三軒屋公園等複合施設が市民に永く愛される施設になるよう、利用者である市民の皆さんに参加いただき、「家族や友人とこんな風に過ごしたい、こんなことをしてみたい」等、新しい複合施設や公園で過ごす自分を想像しながら、3つのグループに分かれて話し合っていました。10代から80代まで、幅広い年齢の方々に御参加いただきました。

Aグループ

発表タイトル
「五感で楽しむ新たな居場所づくり」

大切にしたいこと

- ✓安心安全な公園スペース
- ✓リラックスできる図書室

大切にしたいことを実現するための工夫

1階・地上公園

- ・芝生エリアを広く確保し、砂場や水遊び場の設置や樹木を増やして自然な日陰をつくるなど、地上公園面積の拡大と充実を図る。
- ・かつての「ほっとぶらざ」のように、1階を目的がなくても誰でも気軽にふらっと立ち寄り、雑誌を読んだり休憩したりできる椅子・テーブルを配置し、フリースペースとして活用する。
- ・公園と屋内を自由に行き来できる設計にする。一方で、死角となる外階段は夜間閉鎖するなど防犯面も考慮する。

2階・図書室及び施設構成

- ・靴を脱いでくつろげるスペース、リラックスして本が読める空間、蔵書数の確保や、Wi-Fi・コンセント完備の学習スペースとするほか、読み聞かせ室はコーナーとするなど、理想的な読書環境を確保する。
- ・誰もが出入りしやすいよう、図書室を1階に配置し、公園と一体化させる。その分、子育て支援センターなどの特定目的の施設を2階へ上げる。

公園・複合施設の活用

- ・チャレンジショップ、ハンドメイド作品の販売の場としての活用や、マルシェ等のイベント開催として活用する。



Bグループ

発表タイトル
「癒しと多世代交流の空間」

大切にしたいこと

- ✓居心地が良い多世代交流ができる空間
- ✓こどもの安全（見守り）チャレンジを実現できる施設

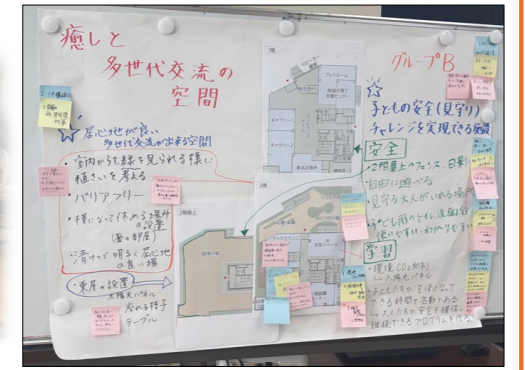
大切にしたいことを実現するための工夫

居心地と交流の提言

- ・室内からも緑が見られるような植栽を考え、リラックスできる環境をつくる。
- ・全館バリアフリーとし、高齢者が座って休める畳スペースや、屋上公園にこどもを見守れる「あずまや」を設置する。
- ・清潔で明るく、居心地の良い場にする。

こどもの安全と学びの提言

- ・屋上からの落下防止（フェンス高）によりこどもの安全を確保するほか、親子で使いやすい低い手洗い場・トイレを設置する。
- ・太陽光パネルの発電量を可視化して学びにつなげる。また、こどもたちが作ったものを主体的に販売・発表する場を設け、地域との交流を生む。



Cグループ

発表タイトル
「みんなで育てる地域コミュニティ」

大切にしたいこと

- ✓安心と交流が生まれる場
- ✓安全でにぎわいが生まれる場

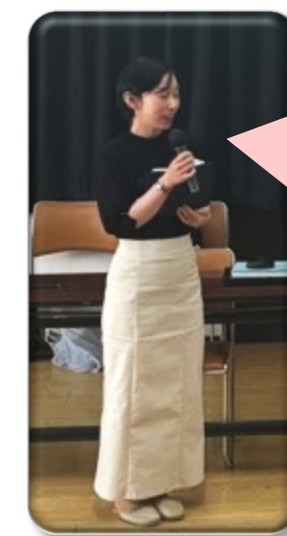
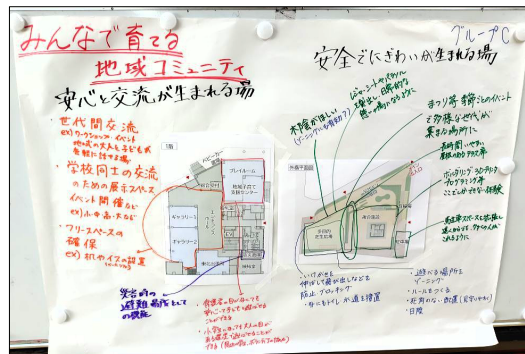
大切にしたいことを実現するための工夫

施設内の提言

- ・地域の小中高大と連携した展示やワークショップを行い、学校同士の交流や世代を超えた関わりをつくる。
- ・周辺の学生がボランティアによりこどもを見守る仕組みを導入し、親が安心してこどもを遊ばせられる環境をつくる。
- ・防災倉庫の設置を含め、災害時の一時避難場所としての機能を備える。

地上公園・複合施設の提言

- ・ゾーニングを工夫し、自転車やボール遊びが交錯しないようエリアを分け、明確な利用ルールを運用する。生け垣を伸ばして地上公園から道路への飛び出しなどを防止するほか、死角のない配置にする。
- ・レジャーシートやパラソルの貸し出し、長時間いやすい屋根付きテラス席の設置など、長時間滞在できるような工夫を図る。
- ・ボルダリング、3Dプリンター、プログラミング教室など、ここならではの体験ができる機能を設け、施設の目玉とする。まつり等季節ごとのイベントで多様な世代が集まる場所にする。



千葉大学
湯浅かさね 助教

コーディネーター（千葉大学 湯浅かさね 助教）による講評

- ✓「図書室を1階にする」、「フリースペースをどこに置か」といった具体的な空間構成への踏み込んだ意見が多く、非常に有意義でした。
- ✓「部屋名称」がない自由な空間こそが市民の居心地の良さを生みます。従前の施設利用経験に基づいた提案には強い説得力がありました。
- ✓交流は行政がつくるものではなく、利用者がリピーターとなり、緩やかなつながりから「育つ」ものです。そのための仕掛けが大切です。
- ✓学校や家以外の大人が見守ってくれる「第3の安心できるこどもの居場所」としての役割を再確認できました。

～ 参加者(第1回・第2回)の感想 ～

- ・初めての機会でしたが、幅広い年代のさまざまな意見を聞くことができ貴重な経験になりました。このようなワークショップがあればまた参加してみたいと思います。
- ・各世代や立場により、色々な視点があることがわかり新しい発見があり有意義でした。
- ・参加できて良かったです。ワクワクするような施設になると思い楽しみです。
- ・今回のワークショップで特に印象に残ったのは、市民の方々の熱量の深さです。この町を良くしたいという気持ちがとても伝わってきて、良い刺激を受けました。
- ・初めてこのような機会に参加しました。世代ごとに意見が異なり、若い世代がこういった場所にきちんと参加しないと行けないと思いました。

